

このたびは、『新版 医療情報 情報処理技術編』（2009年6月5日発行 第1刷第1版）をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

読者の皆様には、ご迷惑をお掛けいたしましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

2010年1月26日

正 誤 表

頁	行番号等	誤	正
7	右段 5行目から12行目まで	補数とは扱える最大桁数からさらに桁上りの数(例えば10進数で、1桁の場合は10、2桁の場合は100)から負の数の絶対値を引いた値で、この例では桁は1桁であるので10から負の数の絶対値を引いた値となる。-3の補数は $10-3=7$ で7となり、この数を-3に置き換えて加算すると、	ある数xの補数とはある決まった数Aに対して、 $A-x$ となる数のことを言う。例えば、 $A=10$ の場合、3の補数は7となる。ここで、 $9-3$ を計算する場合、「-3」を3の補数の「7」に置き換えて足し算を実行すると、
8	左段 6行目から7行目まで	① 1の補数: 上述の10進数の様に桁上りの数から負の数の絶対値を引いたもの。	① 1の補数: 扱う2進数の最大桁数の全ての桁が1で満たされている数から負の数の絶対値を引いたもの。
8	右段 4行目から5行目まで	ここで負数の0011(2)を1の補数に変換する。1の補数は0と1とを入れ替えればよいので、	ここで引く数、つまり負の符号が前についた-3を1の補数に変換する。この場合、1の補数は、もとの数と足して「1111」になる数であるので、0と1とを入れ替えればよいので、
73	右段 図 1.4.1	データ構造の種類	データ型の種類
97	右段 下から13行目	の拡張子を示す(表 1.5.5 参照)	の拡張子を示す(表 1.5.4 参照)
104	左段 表 1.6.1 2行目の2列と3列	98/Me/NT/200/XP/Vista	98/Me/NT/2000/XP/Vista
104	右段 7行目	1.6.6 にデフラグの	1.6.6 にデフラグの
139	左段 下から4行目	2.4 Ghz, 5.2 Ghz 近辺の	2.4 GHz, 5.2 GHz 近辺の
139	右段 表 2.3.3 帯域の欄の5行分	2.4 Ghz 帯 2.4 Ghz 帯 5.2 Ghz 帯 2.4 Ghz 帯 2.4 Ghz/5Ghz 帯	2.4 GHz 帯 2.4 GHz 帯 5.2 GHz 帯 2.4 GHz 帯 2.4/5.2 GHz 帯
141	右段 下から2行目	AES(Advanced Encryption Standard)を使え	AES(Advanced Encryption Standard)が使い
142	左段 上から4行目	情報セキュリティのセクションにて掲載しているので	第4章「情報セキュリティ」で説明しているので
405	索引左段 下から21行目	Electronics Engineers 10	Electronics Engineers) 10
416	索引左段に追加		ファイアウォール (firewall) 299
416	索引右段に追加		プロトコル (protocol) 117
417	索引中段	無線 LAN 126	無線 LAN 126,139

以上